

セミナー

外観検査のヒューマンエラーを軽減する 目視検査の常識を覆す

「周辺視目視検査法」入門

主催 テクノプラザナゴヤ合同事業委員会
公益財団法人名古屋産業振興公社

参加費
無料

日時

令和5年11月29日（水） 13時30分～
16時30分

外観検査を効率的に行うには、豊富な経験と高いスキルが必要です。また、集中して不良がないか確認する為、集中力が長く続かず、検査にミスが生じ品質にバラツキが出てしまいます。

本セミナーでは、周辺視・瞬間視・衝動性眼球運動など視覚システムの活用と、リズムや照明などの光源を最適化することで生産性を向上させる検査法「周辺視目視検査法」を学びます。

ぜひ、多くの皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

会場：（一社）名古屋銀行協会 2階 201号室
名古屋市中区丸の内2-4-2 電話（052）231-7851

講師：周辺視目視検査研究所 代表 佐々木 章雄 氏

プログラム：

- ①周辺視目視検査法の理解
- ②周辺視目視検査法の導入方法
- ③見逃しの原因となる検査対象物と光源（検査用照明）の関係
- ④事例紹介

・講師プロフィール

周辺視目視検査研究所 代表 佐々木 章雄 氏

- 1970年 (株)日本IBM藤沢工場へ入社以来、一貫してIE(Industrial Engineering)業務に従事。
- 1998年 特に専門とする動作分析を基礎として検査作業の分析と機能展開により「周辺視目視検査法」を開発。
- 2003年 HDD事業部が日立に売却された後、早期定年退職し、中国企業でIEの指導を行っていたが、その後、(株)日立グローバルストレージテクノロジーズ(GST)(現(株)HGSTジャパン)の海外量産工場にて生産性向上の指導を行う。
- 2012年 日立GST(現(株)HGSTジャパン)を退職後、「周辺視目視検査研究所」を設立。
同検査法の講師やコンサルタントとして活躍中。

・申込方法

参加申込書にご記入の上、FAXにて、令和5年11月22日(水)までに
公益財団法人名古屋産業振興公社までお申込み下さい。

【お問い合わせ先】

公益財団法人名古屋産業振興公社 工業技術振興部 担当 安田

TEL 052-654-1683 / FAX052-661-0158

E-mail : gijutu@nipc.or.jp

【申込書】

公益財団法人名古屋産業振興公社 行
(FAX : 052-661-0158)

R5.11.29 <セミナー> 外観検査のヒューマンエラーを軽減する
目視検査の常識を覆す

「周辺視目視検査法」入門

会社名

(連絡先電話番号)

(担当者氏名)

参加者氏名	所属部課	役職	(FAX番号)
			(メールアドレス)

※ご記入いただきました個人情報は、当公社講演会等以外には使用いたしません。

※参加証はお送りしませんので、当日会場受付へ直接おこしください。

※発熱、倦怠感、味覚異常など体調がすぐれない方は参加をご遠慮ください